

# 平成30年度第3回鴻巣市まちづくり市民会議 次第

日 時 平成30年7月25日(水)  
午前 9時30分～  
場 所 鴻巣市役所 本庁舎3階  
302・303会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 前回の議事及び本日の進行について

4 議事

(1) 対象施策及び重点基本事業の取組評価の報告

(2) 対象施策及び重点基本事業の課題・改善点の検証

Aグループ 3-1：学校教育の充実  
Bグループ 5-3：観光の振興

5 その他

・次回の審議会の予定等について

6 閉会

# 成果向上に向けた取組提案シート【施策3-1】

政 策	3 教育・文化に関する政策
施 策	1 学校教育の充実
<b>☆施策の目指す姿</b> ⇒ 豊かな心と創造性を持ち、はつらつとした学校生活を送っています。	
重 点 基 本 事 業	6 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
<b>☆基本事業の目指す姿</b> ⇒ 学校、家庭、地域が相互に協力・成長して、児童生徒を育む環境を構築しています。	
<b>☆重点基本事業に選定された理由</b> ⇒ ① 第6次総合振興計画策定時における、新規顕在化事業として、対策方向性が打ち出されたこと。 ② 子育て環境の充実化による、自然人口増加に寄与する基本事業であること。 ③ 学校・家庭・地域の相互連携による、個人意識啓発から更に踏み込んだ基本事業であること。	

## ◆ 成果指標の動向と評価

No	指標名	単位	目標方向性	H27	H28	H29	目標値(H33)
施策指標①	学校での生活に満足していると回答している児童生徒の割合	%	▲	90.8%	90.1%	92.7%	93.5%
	指標・目標値設定根拠	児童生徒が学校生活に充実感を感じているかを測る尺度として設定しており、過年度の平均増加率(+0.55%)を考慮しつつ、H33は93.5%を目標値として設定した。(埼玉県学力・学習状況調査の児童生徒質問紙調査による)					
重点基本事業①指標①	学校・家庭・地域が連携していると思う保護者の割合	%	▲	92.4%	92.1%	92.3%	92.4%
	指標・目標値設定根拠	重点基本事業の目指す姿である「学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」を測る尺度として設定しており、H27の高い数値を維持することを根拠として、H33は92.4%を目標値として設定した。(PTA役員によるアンケート調査による)					
重点基本事業①指標②	学校応援団を含めた学校ボランティア数の児童生徒に対する割合	%	▲	38.6%	38.3%	41.6%	46.0%
	指標・目標値設定根拠	重点基本事業の目指す姿である「学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」を測る尺度として設定しており、H24～26で最も高かった46%を目指すことを根拠として、H33は46.1%を目標値として設定した。(学校応援団の推進に係る調査による)					
重点基本事業①指標③	研修や研究会での成果を教育活動に積極的に反映させていると回答した学校の割合	%	▲	48.2%	63.0%	63.0%	85.2%
	指標・目標値設定根拠	重点基本事業の目指す姿である「学校・家庭・地域の連携と教育力の向上」を測る尺度として設定しており、H27では「よく行った」と回答していた学校が13校であったが、H33は23校を目指すことを根拠として、85.2%を目標値として設定した。(埼玉県学力・学習状況調査の学校質問紙調査による)					

指標値の向上に特に貢献する事務事業	地域人材活用事業	成果があがっている
	地域に居住している専門知識等を有している経験豊かな人や教職を目指す大学生を計画的・意図的に活用することにより、地域に開かれた特色ある学校づくりの一層の推進を図る事業 【H29実績】 ○ゲストティーチャー・・・522名(小学校435名・中学校87名)    ○学校応援団・・・小・中全27校で組織(小学校2631人・中学校1020人) ○大学生学習ボランティア・・・15名(小学校13名・中学校2名)    ○中学校部活動外部指導者・・・中学校8校(運動部48部・48人・1440回) ○学力向上支援員・・・9名(小学校19校で活用)    ○理科支援員・・・5名(小学校8校へ配置) ○パラリンピックキャラバン・・・中学校全8校で実施	
指標値の向上に特に貢献する事務事業	特色ある学校づくり事業	成果があがっている
	体験的な活動や地域の方々の教育力を生かした特色ある教育活動を行うことにより、保護者や地域の方々から信頼される学校づくりの一層の推進を図る事業 【H29実績】 ○生活科や理科、総合的な学習の時間での福祉体験や農業体験(高齢者との交流、米づくり体験、野菜栽培等) ○保護者や地域ボランティアの方々を招いての自然体験活動(菊栽培、花育活動、ホテル飼育等) ○地域伝統行事・祭り等への参加(ささら獅子舞、お囃子、和太鼓、鼓笛隊等) ○保護者や地域の方々为主体となった活動(人形づくり、餅つき、昔遊び、手打ちうどんづくり、おやじクラブ等)	

担当課の評価	<b>&lt;目指す姿の実現に欠かせない考え&gt;</b> 豊かな心と創造性を持ち、はつらつとした学校生活を送ることができる児童生徒を育成するためには、学校・家庭・地域・関係機関等が連携を深めながら、地域に根ざした特色ある教育活動を推進していくことが重要である。
	<b>&lt;目指す姿の実現に向け、課題と考えている事項&gt;</b> ①教職員の指導力・授業力の向上 ②幼・保・小・中の校種間によるさらなる連携 ③家庭・地域の教育力の向上及び地域人材の発掘・活用

◆まちづくり市民会議における審議事項 【施策 3-1】学校教育の充実

**審議①**  
 当該基本事業についての課題や問題  
 (市の課題認識についての見解・問題点)  
 (委員の皆さんが不安や不満に感じている点 等)

**審議②**  
 課題や問題を解決するために提案する取組  
 (行政の対応が求められる点 等)

検討課題 (問題)提起	現状と問題点



解決するための取組方策	
改善項目	説明

◆施策全般に関する意見等

# 成果向上に向けた取組提案シート【施策5-3】

<b>政策</b>	5 産業に関する政策
<b>施策</b>	3 観光の振興
<b>☆施策の目指す姿</b> ⇒ 観光客数が増加することによって、市の認知度が高まり地域経済が活性化しています。	
<b>重点基本事業</b>	1 情報発信、魅力PRの強化
<b>☆基本事業の目指す姿</b> ⇒ 鴻巣市の観光情報が分かりやすく整理され、多くの方が見えています。各種媒体を活用して、鴻巣市がPRされています。	
<b>☆重点基本事業に選定された理由</b> ⇒① 交流人口増加による、市の認知向上・将来への人口定着への土台として、直接的効果の高い基本事業であること。 ② 地域主体、複数分野との連携など、個人意識啓発から更に踏み込んだ基本事業であること。 ③ 昼夜間人口比率が県内平均より低いなど、賑わい・交流の視点で「市の弱み」として捉えられた分野を含む基本事業であること。	

## ◆ 成果指標の動向と評価

No	指標名	単位	目標方向性	H27	H28	H29	目標値(H33)
施策指標1)	観光客入れ込み客数	人	▲	1,557,620人	1,598,672人	1,402,186人	1,890,000人
	指標・目標値設定根拠	市内の観光としての集客力を測る尺度として設定しており、過年度の平均増加率(+3%)を考慮し、189万人を目標値として設定しています。					
重点基本事業1指標①	市、観光協会のHPのイベント情報へのアクセス件数	件	▲	170,480件	366,351件	435,839件	250,000件
	指標・目標値設定根拠	重点基本事業の目指す姿である「観光情報が分かりやすく整理され、多くの方が見えています」を測る尺度として設定しており、PCやスマートフォンからのアクセス件数を根拠として、25万件を目標値として設定しています。					
重点基本事業1指標②	マスコミへの露出件数 新聞(朝日、毎日、読売、埼玉) テレビ、ラジオ	件	▲	-	26件	28件	20件
	指標・目標値設定根拠	重点基本事業の目指す姿である「各媒体を活用して、鴻巣市がPRされています」を測る尺度として設定しており、露出件数の実績を根拠として、20件を目標値として設定しています。					

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
指標値の向上に特に貢献する事務事業	ひな人形の街鴻巣PR促進事業	成果があがっている
	<b>■ひな人形の街鴻巣をアピールし、地場産業及び商店街の活性化を図る。</b> ・予算額 1,152,000円(H30一般会計)観光協会への補助金 主催 (一財)鴻巣市観光協会 主管:鴻巣びっくりひな祭り実行委員会 <b>【H30実績】</b> 期間 2月16日(金)～3月11日(日) 24日間 会場 エルミこうのすショッピングモール(サテライト会場)ひなの里、花久の里、パンジーハウス、コスモスアリーナふきあげ、吹上生涯学習センター 事業費 6,377,275円(H30支出額) 来場者数 444,084人(最終日午後3時半まで)昨年448,591人	

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
指標値の向上に特に貢献する事務事業	こうのす花まつり開催事業	どちらかといえば成果があがっている
	<b>■「花のまち こうのす」を全国にアピールすることにより、鴻巣市を訪れる観光客が増える。</b> ・予算額 12,915,000円(H30一般会計)花まつり実行委員会への補助金 主催 こうのす花まつり実行委員会(事務局は観光戦略課) <b>【H30実績】</b> 期間 5月12日(土)～5月27日(日) 16日間 会場 ポピーまつり(馬室会場)、麦なでしこ・ポピーまつり(吹上会場)、花久の里バラまつり、鴻巣オープンガーデン、花生産農家施設見学会、花市場見学会 事業費 15,600,000円(H30予算額) 来場者数 244,100人(昨年230,000人)	

指標値の向上に特に貢献する事務事業	事務事業名	事務事業の成果動向
指標値の向上に特に貢献する事務事業	コスモスフェスティバル開催事業	どちらかといえば成果があがっている
	<b>■コスモスフェスティバルの知名度が上がり、市内外から多くの観光客が訪れる。</b> イベントの開催により地元商店業者の活性化につながる。 ・予算額 1,350,000円(H30一般会計)実行委員会への補助金(事務局は商工会) 主催 コスモスフェスティバル実行委員会 <b>【H30予定】</b> 期間 10月27日(土)・28日(日) 2日間 会場 コスモスアリーナふきあげ 事業費 1,377,444円(H29決算額) 来場者数 1,000人(昨年80,000人)	

担当課の評価	<b>&lt;目指す姿の実現に欠かせない考え&gt;</b> マスコミへの露出を増やすため、メディア関係者との信頼関係の構築やメディアに取り上げてもらいやすい魅力の伝え方。 ホームページの見易さ、インスタグラムの見映え。
	<b>&lt;目指す姿の実現に向け、課題と考えている事項&gt;</b> ①馬室会場のポピー農家の高齢化及び駐車場不足対策 ②川幅うどんのさらなるPRと川幅うどんに続く食べたいようなグルメ、お土産になるグルメの開発及びグルメのPRをすることで商店が活性化することが必要

◆まちづくり市民会議における審議事項 【施策 5-3】観光の振興

審議①

当該基本事業についての課題や問題  
 (市の課題認識についての見解・問題点)  
 (委員の皆さんが不安や不満に感じている点 等)

検討課題 (問題)提起	現状と問題点



審議②

課題や問題を解決するために提案する取組  
 (行政の対応が求められる点 等)

解決するための取組方策	
改善項目	説明

◆施策全般に関する意見等